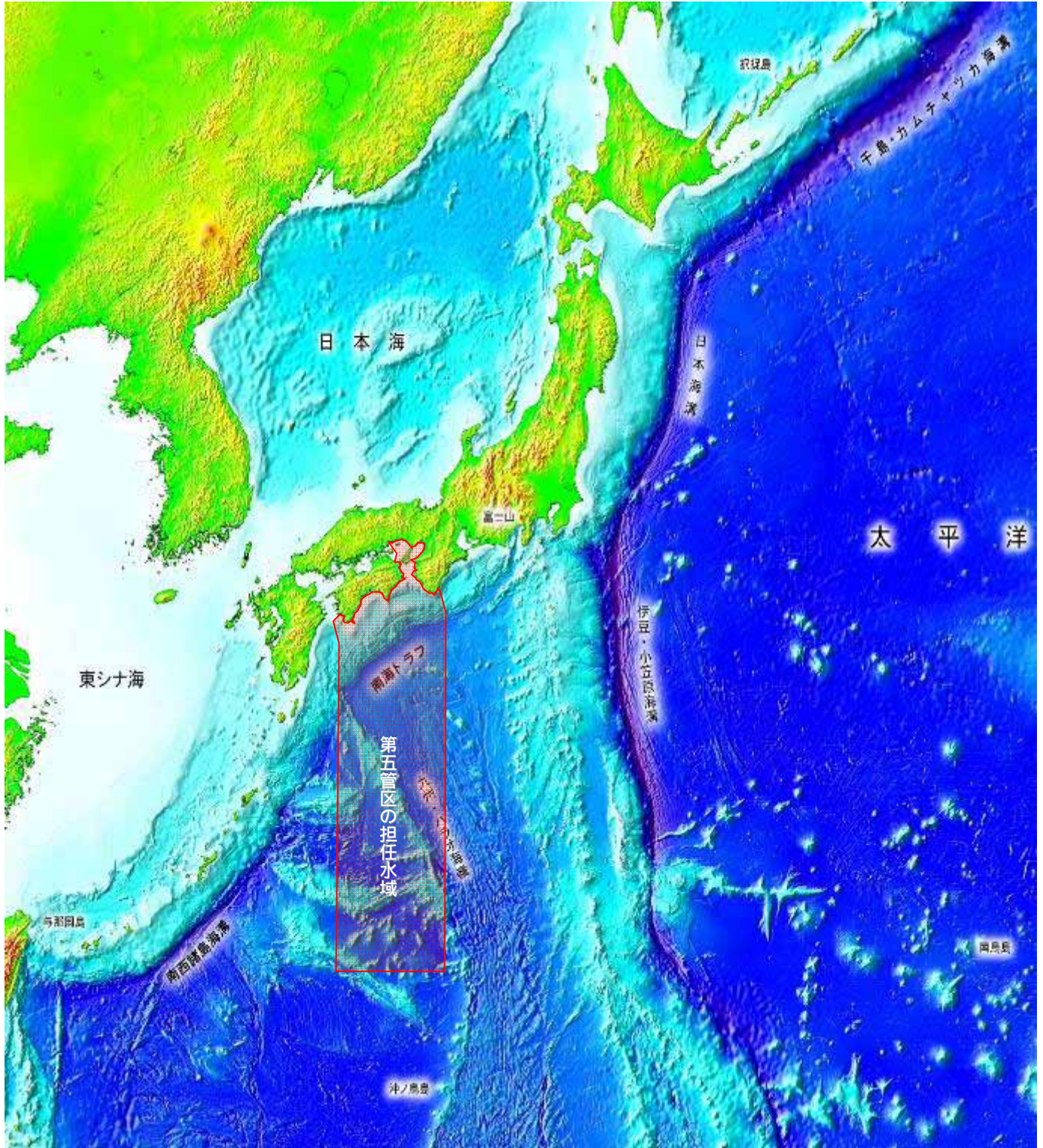


海上保安庁 Japan Coast Guard

海のもしもは118番

第五管区海上保安本部

5th Regional Coast Guard Headquarters

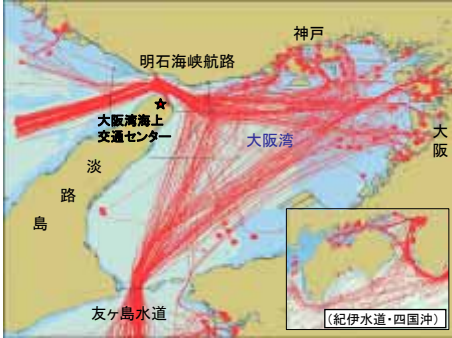


愛します! 守ります! 日本の海

ふくそう海域の安全確保

日本でトップクラスの船舶交通量がある明石海峡及び友ヶ島水道並びにふくそうする大阪湾内の船舶交通の安全を確保しています。

(1) 管内通航船舶の航跡図



(2) 明石海峡航路東口付近の衝突事故



(1) 大阪湾及び紀伊水道・四国沖におけるAIS航跡図。赤い線が船舶の通航した航跡。

(2) 平成20年3月に明石海峡航路東口で発生した3隻の船舶による衝突事故。この事故で、1隻が沈没、3名が亡くなり、1名が未だ行方不明となっている。
五管区では、事故の再発防止策の検討を官民一体となって行うなど、安全確保への取組を実施。

(3) 大阪湾海上交通センター



(4) 大阪湾海上交通センター運用室



(3) (4) 1日800隻を越える船舶の通航量を誇る明石海峡航路において、船舶に対する情報提供などを行っている大阪湾海上交通センター。

同センターでは、AIS※を活用した航行支援システムを導入して効果的な航行指導や乗揚げ防止等の情報提供を行い海上交通の安全確保に努めている。

※AIS(Automatic Identification System)
船舶の情報等を自動的に送受信し、船舶相互間及び船舶・陸上施設間において情報交換を行うシステム。
【AIS搭載義務船舶】
・国際航海に従事する旅客船及び総トン数300トン以上の船舶(旅客船を除く。)
・国際航海に従事しない総トン数500トン以上の船舶

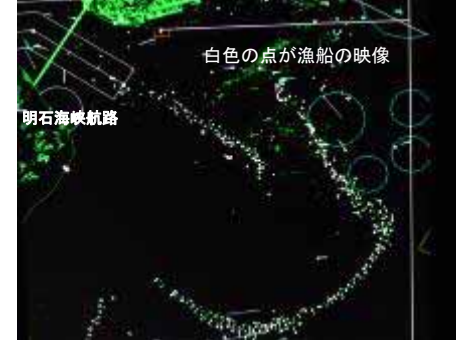
漁業活動に対応した安全指導

明石海峡周辺海域は、イカナゴ漁・のり養殖などに代表されるように、漁業活動が盛んであるうえ、貨物船等の通航船舶も非常に多いことから、漁業活動状況等の情報提供を行うなどの安全対策を行っています。

(1) 「のり、わかめ」の養殖漁場図



(2) イカナゴ漁船の操業状況を示すレーダー映像



(1) 毎年9月から翌年5月ごろまで、大阪湾及び播磨灘に設置される「のり、わかめ」の養殖施設。船舶の通航路近辺に多数設置されている。

(2) 明石海峡航路東口付近で操業する漁船の状況。
特に、毎年、2月末から4月初旬にかけては春の風物詩であるイカナゴ漁が始まり、最漁期には1日に約230隻の漁船が操業するなど、付近海域がふくそうする。

航行安全情報の提供

航海の安全確保のため、気象情報、船舶交通の支障となる航路障害物、海上における工事・作業、射撃訓練などの様々な情報を、インターネットホームページ等により情報提供を行っています。

(1) MICSの情報内容

(2) 五管区ホームページ

(1) MICS(沿岸域情報提供システム)による情報提供。
モーターボートや漁船に乗る人や、磯釣りなどマリリンジャーを楽しむ人などに、リアルタイムで気象海象情報など、海の安全に関する情報を提供

携帯電話からのアクセスはここ！
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/m/>
すべての携帯電話でご利用できます。



(2) 五管区ホームページではMICS以外の各種航行安全情報も提供。

救助活動

海難などの発生に備え、24時間の当直体制をとるとともに、巡視船艇や航空機による即応体制を整えています。平成21年は、約210名を無事に救助しました。

(1) 機動救難士による吊上げ救助



(2) 救助された方の喜びのひとコマ



(1)(2)平成21年11月、ヨットから海中転落し、約12時間漂流後、関西空港海上保安航空基地のヘリコプターにより発見・救助された時の模様。

救助された方から、ヨット雑誌『KAZI』(2月号)の誌面及びご自身のブログで、第五管区の捜索エリアの正確さと捜索能力に驚嘆する旨のお言葉を頂く。

(3) フェリー横転事故



(4) 救助された方からのお礼状



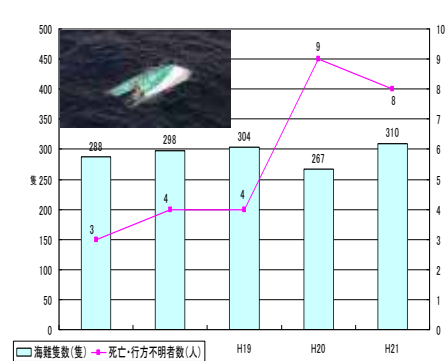
(3)平成21年11月、横転・座礁したフェリー。(乗客等21名を吊上げ救助)

(4)救助後、フェリーに乗船されていた方から、救助に対するお礼の葉書を頂く。

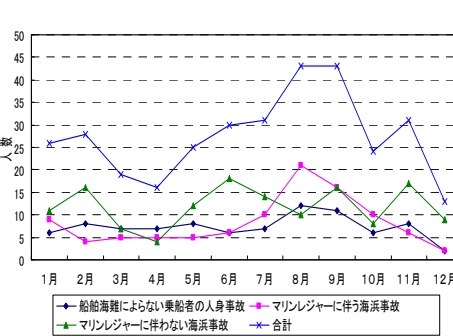
海の事故防止

西日本の拠点港湾である阪神港及び国内有数の船舶通航量を誇る明石海峡や友ヶ島水道周辺海域は、漁業活動やマリネジャーが活発であり海の事故が多発していることから、訪船指導や啓発活動を積極的に実施し事故防止に努めています。

(1) 平成21年海難発生件数、死亡行方不明者数



(2) 平成21年人身事故者数



(1)平成21年の管内の海難船舶隻数は、310隻(前年比43隻増加)。

(2)平成21年の管内の人身事故者数は、329人(前年比11人減)で横ばい状態。

(3)(4)海中転落者のうちライフジャケット着用者の生存率は、未着用者の約1.7倍。このため、ライフジャケットの着用率向上に向けた普及啓発活動を積極的に推進。

(5)マリネジャーに伴う海浜事故のうち釣り中の事故者が約4割と突出。このため、「釣り安全五管五則」を提唱し、釣り人に呼びかけ。

(3) 安全指導



(4)「生死の明暗 海で守ろう 3つの掟」

①ライフジャケットの常時着用

②連絡手段の確保

③海の緊急電話番号118番

海の「もしも」は118番

海上保安庁緊急通報用電話番号

ひとつ ひごらの気象の把握 気象の把握

ふたつ ふだんの携帯持って 携帯電話で118番

みっつ みんなで ひとりで行かぬ 単独行動の回避

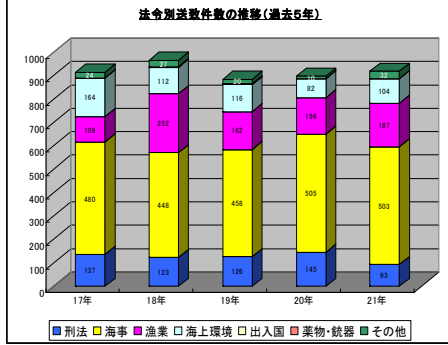
よっつ 予期せぬ 高波注意 一発波、高波に注意

いつつ いつでもライフジャケットを着けて ライフジャケットの着用

治安の確保

船舶の無資格運航や密漁、密輸・密航、油及び廃棄物の不法排出など、管内の海上犯罪は減少することなく微増傾向にあることから、日夜、厳格な取締りを行っています。

(1) 過去5年間の法令別送致件数



(2) 密漁中の小型船舶



密漁は、水産資源の枯渇という問題に留まらず、その不正な利益の一部が暴力団の資金源となっていることから、警察など関係機関と協力して厳格な取締りを実施。

(1) 過去5年間に海上犯罪を摘発し送致した件数。

海上犯罪は、依然、減少することなく微増状態で、年間約900件の海上犯罪を摘発。

(3) 逃走中の密漁船



(4) 押収された密漁品(ナマコ)



(2)(3)(4)

夜間、密漁監視中の海上保安官が潜水器密漁船を発見。

逃走する密漁船を、約6時間、距離にして約200海里(約370km)を追跡し、密漁者3名を現行犯逮捕し、みつりょうしたナマコ約340kg。

密輸・密航対策

薬物・銃器犯罪や外国人による犯罪などの多くは、暴力団や国際犯罪組織が関与する密輸・密航事犯に端を発していると考えられるため、これらを水際で阻止すべく取り組んでいます。

(1) 覚せい剤密輸を企てた中国漁船



(2) 押収された覚せい剤と被疑者が乗船していた容疑船



(1) 平成21年2月、高知県室戸岬沖において、覚せい剤120kg(末端価格120億円)の密輸を企てた中国漁船。

(2) 平成18年9月、姫路港において、覚せい剤を密輸しようと企てた中国人船員の乗船していた貨物船と押収された覚せい剤(約6kg)。

いずれも、警察等と協力し乗組員と引取り者を逮捕し、国内への覚せい剤の密輸を水際で阻止した事例。

(3) ロシア人船員が不法所持していた大麻



(4) 密輸・密航の取締り



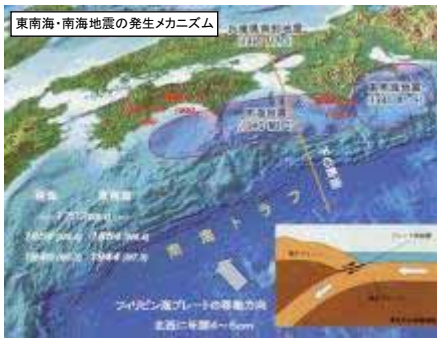
(3) 平成19年3月、徳島小松島港金磯岸壁に 着岸中のセントビンセント籍の貨物船船内の通路天井送風ダクト上から発見され押収した注射器に入った液体大麻(約8g)。

(4) 警察や税関などの関係機関との連携協力を密にし、密輸・密航事犯の根絶に向けて、監視・取締りを実施。

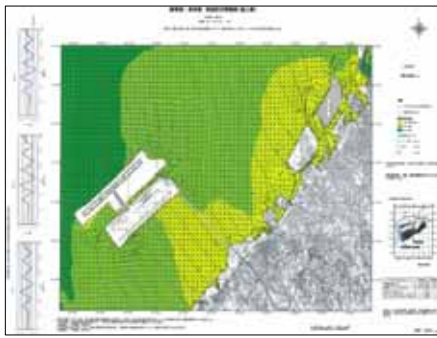
自然災害対策

今世紀前半にも発生するおそれがあると言われている「東南海・南海地震」に備え、地方自治体等との連携強化を図る等、災害に対し迅速に対応するための体制を整えています。

(1) 東南海・南海地震の発生メカニズム



(2) 阪南港・泉州港の津波防災情報図(進入図)



- (1) 今世紀前半に発生するおそれがあると言われている「東南海・南海地震」が発生した場合には、東海から九州の太平洋沿岸を中心に広域かつ甚大な被害をもたらすと予測。
- (2) 地震による津波被害の発生が予想される港湾等のシミュレーションを「津波防災情報図」として、地方公共団体や防災関係機関に提供。

(3) 県防災ヘリの巡視船への離着船訓練



(4) 自治体・医療関係者等との緊急輸送訓練



- (3) (4) 地方公共団体その他の関係機関と連携した訓練を実施。
被災者の救出、人員・救援物資の緊急輸送、被害状況の調査等の災害応急活動を迅速・的確に実施できるよう連携を強化。

海洋環境保全

この青い海を汚すことなく未来に引継ぐため、海洋汚染の防止、指導・啓発活動及び海洋環境を汚染する不法行為を摘発する等、海洋環境の保全に努めています。

(1) 「未来に残そう青い海・図画コンクール」入賞作品



(2) 海浜清掃及び漂着ごみ調査



- (1) 海洋環境保全をテーマに毎年開催している図画コンクールの第五管区海上保安本部長賞(小学生高学年の部)を受賞した神戸市立西山小学校 勝股 久美子さんの作品。
- (2) 子供たちによる海浜清掃活動等を通じて、広く一般市民に海を大切にもらうための啓発活動を実施。

海洋情報の提供

船舶が安全に航海するための必需品である海図等を整備すると共に、その最新維持を図るため、海底地形や海の深さ、港湾の現状などについて継続して調査を行っています。

(1) 人工衛星レーザー測距観測



(2) 海図(明石海峡航路付近)



- (1) 和歌山県にある下里水路観測所は、日本で唯一の水路観測所としてレーザー測距装置により、人工衛星に緑色レーザーを照射、反射してくるまでの時間を計測することで観測地点の位置を正確に計測する。
- (2) 航海の安全に欠かすことのできない海図を同観測所のデータを基準にして作成。

所属巡視船艇・航空機

当管区は、船艇52隻、航空機5機の勢力を有しています。

【船艇】					
PLH (Patrol Vessel Large with Helicopter)	1隻	PL (Patrol Vessel Large)	2隻	PM (Patrol Vessel Medium)	2隻
PS (Patrol Vessel Small)	5隻	PC (Patrol Craft)	7隻	FL (Fire Fighting Boat Large)	2隻
CL (Craft Large)	23隻	HS (Hydrographic Survey Vessel Small)	1隻	その他の船艇	7隻
LM (Lighthouse Service Vessel Medium)	1隻	LS (Lighthouse Service Vessel Small)	1隻	船 艇	計 52隻
【航空機】					
MA (Medium Aircraft)	2機	MH (Medium Helicopter)	3機	航 空 機	計 5機

主要船艇・航空機

PLH型(ヘリコプター1機搭載型)



巡視船せつ (神戸海上保安部所属)
3100総トン、速力約22ノット
35ミリ、20ミリ機関砲搭載

PL型(1000トン型、ヘリ甲板付)



巡視船とさ (高知海上保安部所属)
1200総トン、速力約20ノット
35ミリ、20ミリ機関砲搭載

PM型(350トン型)



巡視船よしの (徳島海上保安部所属)
335総トン、20ミリ機関砲搭載

PS型(180トン型)



巡視船こうや (田辺海上保安部所属)
195総トン、20ミリ機関砲搭載

FL型(消防船)



消防船かいらゆう (堺海上保安署所属)
110総トン、速力約13ノット

PC型(35メートル型)



巡視艇しきなみ (神戸海上保安部所属)
110総トン、速力約24ノット

CL型(20メートル型)



巡視艇しらぎく (神戸海上保安部所属)
26総トン

HS型(20メートル型)



測量船うずしお (第五管区海上保安本部所属)
27総トン、速力約15ノット

LM型(23メートル型)



灯台見回り船こうらん (神戸海上保安部所属)
50総トン、速力約14ノット

MA型(サーブ340型)



中型飛行機 はやぶさ
(関西空港海上保安航空基地所属)
速力約250ノット

MH型(スーパーピューマ225型)



中型回転翼機 みみずく
(関西空港海上保安航空基地所属)
速力約150ノット



海上保安官採用情報

海上保安官になるには、海上保安大学校学生採用試験、海上保安学校学生採用試験、有資格者採用試験など、いずれかの採用試験を受験しなければなりません。

海上保安大学校 【幹部職員採用試験】

○平成22年度試験日程(入学する年の4月1日現在で21歳未満の者)
【受付期間】平成22年 8月26日(木)～ 9月 7日(火)
【第1次試験】平成22年10月30日(土)～10月31日(日)

将来の海上保安庁の幹部となる職員として必要な高度な学術や技能を教授し、卒業者には学士の学位が授与されます。教育期間は、本科4年と専攻科6ヶ月で、卒業後は、海上保安庁の幹部候補職員として、基本的に海上勤務と陸上勤務を交互に繰り返しながらキャリアアップしていきます。

- 基礎教育科目(哲学、法学、憲法、外国語、保健体育など)
- 専門基礎科目(国際政治、政策科学、情報科学、気象学など、2年次から航海、機関、情報通信の選択科目に分かれる)
- 専門教育科目(行政法、国際法、海上保安制度論、海上犯罪捜査論など)
- 訓練科目(救急安全法、逮捕術、けん銃、武器、潜水など)

海上保安学校 【一般職員採用】

○平成22年度試験日程(入学する年の4月1日現在で24歳未満の者)
【受付期間(特別)】平成22年4月1日(木)～4月8日(木) 【受付期間】平成22年7月20日(火)～8月3日(火)
【第1次試験(特別)】平成22年5月16日(日) 【第1次試験】平成22年9月26日(日)

海上保安庁の一般職員として採用された学生に対し、海上保安業務に必要な学術や技術を教授します。卒業後の業務に応じて4課程、3コースが設けられており、実践的な授業で各分野のエキスパートを育成します。

- 全課程共通科目(法学概要、国際法、海上保安業務概要、英語、情報処理、小型船舶操縦、体育・基本動作)
- 船舶運航システム課程(1年間)
 - 【航海コース(船舶の運航を担当する航海士を養成)】
 - 【機関コース(機関運転・整備を担当する機関士を養成)】
 - 【主計コース(経理や調理を担当する主計士を養成)】
- 航空課程(1年間)
 - 航空機の運航を担当する飛行士を養成
- 情報システム課程(2年間)
 - 通信機器の運用管理及び航路標識業務に携わる職員を養成
- 海洋科学課程(1年間)
 - 海洋データを調査・収集する海洋情報業務に携わる職員を養成

海技免許 無線従事者免許等の有資格者採用試験 航空機の事業用操縦士免許

受験時において、海技免許、無線従事者免許、航空機の事業用操縦士免許など一定の有効な資格を有している方を、船艇職員、無線従事者、航空機職員として採用する試験です。

学生採用試験の詳細な情報については、第五管区海上保安本部ホームページ内の採用情報
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/honbu/jinji/index.htm>
にてご確認ください、第五管区海上保安本部人事課にお問い合わせ下さい。



うみまる うーみん
海上保安庁イメージキャラクター

先輩からのメッセージ



●大阪湾海上交通センター 運用管制課 運用管制官付

海上保安学校門司分校(通信・技術)
平成8年9月卒業

レーダやAISを利用して、明石海峡を通航する船舶の動静把握と情報提供をしています。通航船とは直接無線による遣り取りを行っており、危険を感じたら注意しています。通航船の安全に貢献できるよう今後も頑張ります。楽しみは異動先での名所めぐりです。



●神戸海上保安部 巡視船せつつ 主任機関士

海上保安大学校 平成20年3月卒業

私は巡視船せつつに主任機関士として乗り組んでいます。本船は全乗組員39名のうち女性は4名であり大変なこともあります。周りに支えられながら日々業務に取り組んでいます。現場に出ているから1年余り、まだまだ勉強の毎日です。



●関西空港海上保安航空基地 飛行士

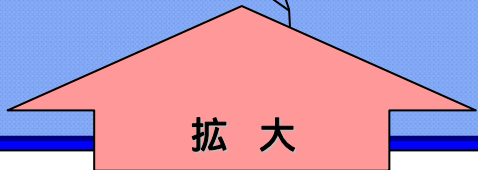
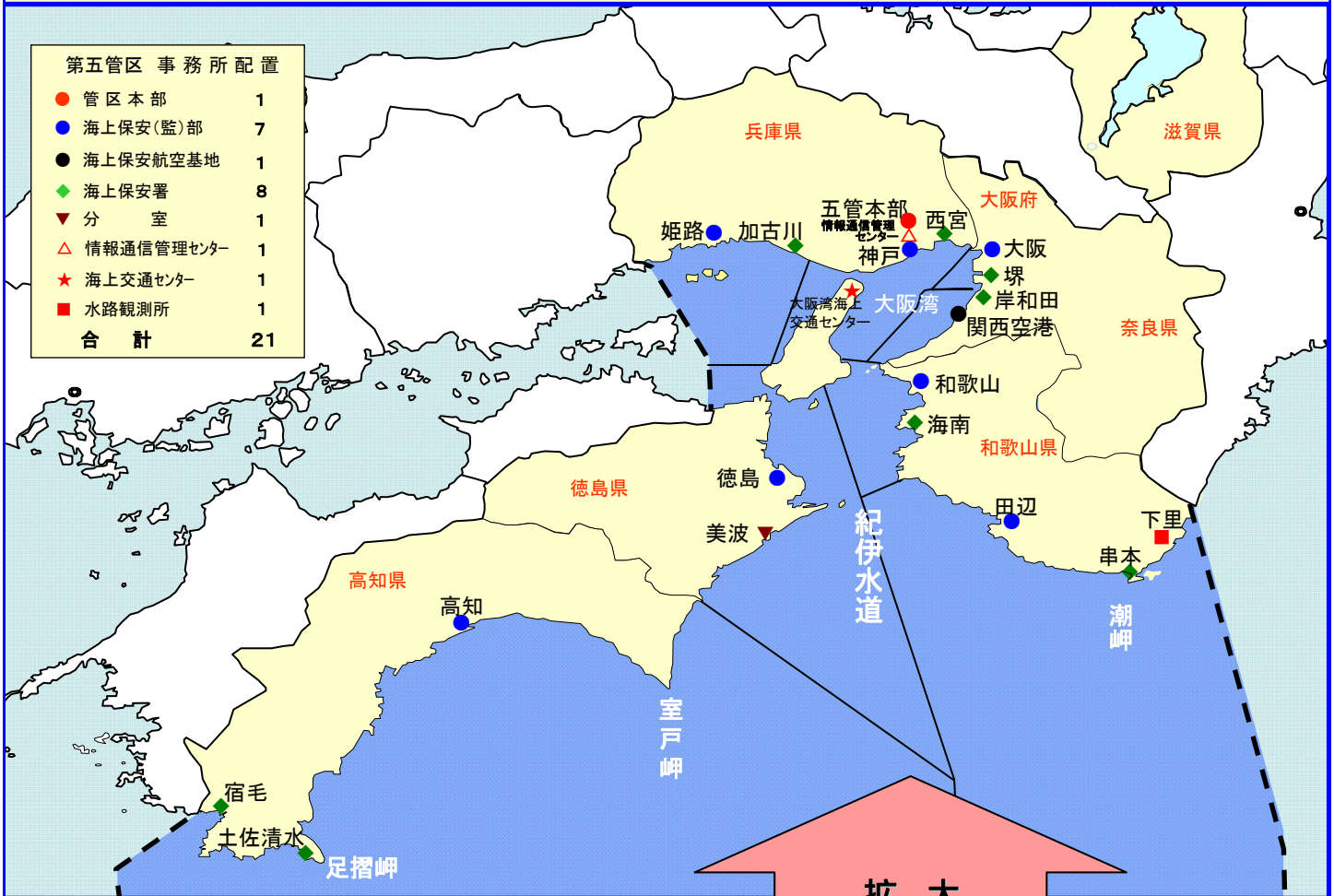
海上保安学校(航空課程)
平成16年3月卒業

現在、ヘリコプターの副操縦士として警備救難業務に携わっています。海上保安庁は海難救助だけでなく領海警備等と職務の幅が広く、また、陸海空に様々な職種があるため、非常にやりがいのある職場です。

第五管区の組織と管轄区域・担任水域

第五管区 事務所配置

- 管区本部 1
- 海上保安(監)部 7
- 海上保安航空基地 1
- ◆ 海上保安署 8
- ▼ 分室 1
- △ 情報通信管理センター 1
- ★ 海上交通センター 1
- 水路観測所 1
- 合計 21



都道府県	部署名	住所	お問合せ先
兵庫	第五管区海上保安本部	〒650-8551 神戸市中央区波止場町1-1	078-391-6551
	神戸海上保安部	〒650-0042 神戸市中央区波止場町1-1	078-331-8440
	西宮海上保安署	〒662-0942 西宮市浜町7-35	0798-22-7070
	姫路海上保安部	〒672-8063 姫路市飾磨区須加294-1	079-231-5063
	加古川海上保安署	〒675-0136 加古川市別府町港町14-2	0794-35-0571
	大阪湾海上交通センター	〒656-1725 淡路市野島江崎914-2	0799-82-3050
大阪	大阪海上保安監部	〒552-0021 大阪市港区築港4-10-3	06-6571-0221
	堺海上保安署	〒592-8332 堺市西区石津西町20	072-244-1771
	岸和田海上保安署	〒596-0012 岸和田市新港町1	072-422-3592
	関西空港海上保安航空基地	〒549-0001 泉佐野市泉州空港北1番地	072-455-1235
和歌山	和歌山海上保安部	〒640-8287 和歌山市築港3丁目43	073-402-5850
	海南海上保安署	〒649-0101 海南市下津町下津3066-16	073-492-0134
	田辺海上保安部	〒646-0023 田辺市文里1-11-9	0739-22-2002
	串本海上保安署	〒649-3503 東牟婁郡串本町串本2113-3	0735-62-0226
	下里水路観測所	〒649-5142 東牟婁郡那智勝浦町下里1981	0735-58-0084
徳島	徳島海上保安部	〒773-0001 小松島市小松島町字外開1-11	0885-33-2246
	美波分室	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天2-1	0884-77-0555
高知	高知海上保安部	〒780-8010 高知市榑橋通5-4-55	088-832-7111
	宿毛海上保安署	〒788-0013 宿毛市片島10-60-6	0880-65-8117
	土佐清水海上保安署	〒787-0303 土佐清水市旭町18-46	0880-82-0464



第五管区海上保安本部ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/>
<http://www.youtube.com/user/gokaiho>



平成22年3月作成